

2021 年度助成事業

リモート研修の構築、保育士を目指す学生のサポート(covid19)

報告書

2021 年6月作成

社会福祉法人 三条福祉会

1. 研修会目的

保育士の資質向上を目的とし、COVID-19の影響により研修機会が減少している現状を解消するために社会福祉法人三条福祉会が主体となり、リモートの研修会を企画し、拠点である「一ノ門わくわく保育園」「田島わくわく保育園」の職員及びマルソーグループが運営する企業主導型保育園「わくわくちびっこ園」等の保育に従事する職員 また、近隣市町村への短期大学、専門学校等、保育士を目指す学生にも案内し、保育を目指す学生のサポートも目的として「公益財団法人日本財団」の助成金支援を受け行われた。

2. 実施日時・会場

実施日:2021年6月5日(土) 午後13時~16時

会場:マルソーアカデミー 新潟県三条市西鱈田7-1

3. 参加者人数

見込み人数:200名(リモート含む)

当日参加者:72名(リモート含む)

4. 3見込み参加人数へ到達できなかった点について

コロナ禍の影響もあり、現地参加者数に制限を設けた為

また、土曜保育に従事する職員が不参加となった事が原因と考えられる

5. 研修会内容

○挨拶 社会福祉法人三条福祉会 理事長 渡邊 喜彦

○研修会 日本子ども福祉専門学校 三原 芙美子 様

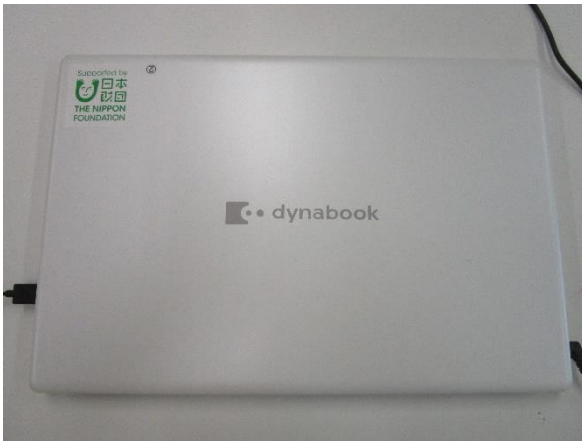
テーマ 子どもの「できる」をめざして

～子どもの権利保障とインクルーシブの実践～

○演習 バンガロー殺人事件(現地参加者のみグループワーク)

6. 事業費内訳

機器整備 パソコン 2 台購入費	179,000 円
研修会費 お茶代	3,564 円
講師謝礼	2,570 円
講師食事代	50,000 円
講師お土産代	6,960 円
合計	<u>242,094 円</u>



田島わくわく保育園購入パソコン画像



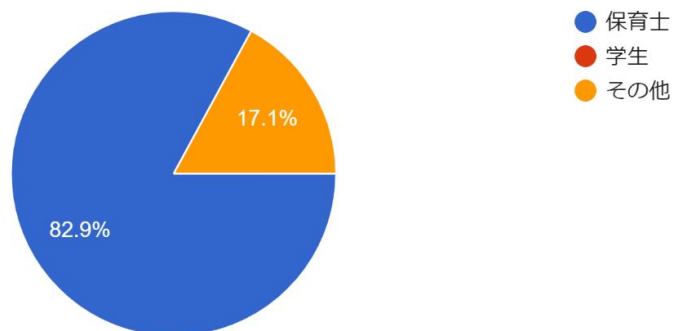
一ノ門わくわく保育園購入パソコン画像

6. 参加者アンケート調査(Google フォームにて) 期間:6月7日~14日

回答者数:41名

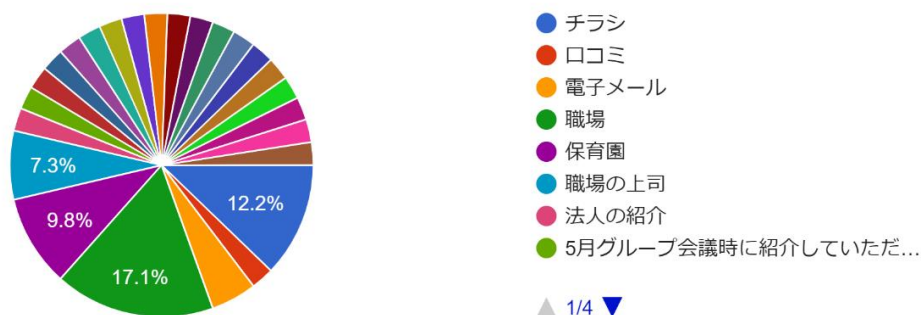
①職種をお聞かせください

41件の回答



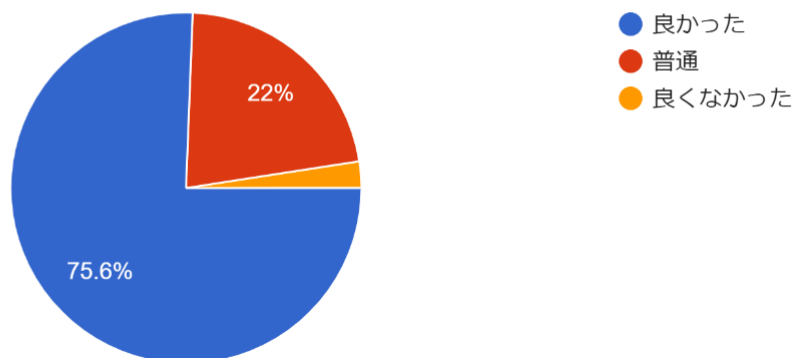
②研修会を知ったきっかけについてお聞かせください

41件の回答



③研修会の満足度をお聞かせください

41件の回答



④設問③の理由をお聞かせください

41 件の回答

- ・障がいには治らない。その子にあったサポートが大切。という事を知る事ができた。大人は子どもを見守りサポートをする。決して前に出過ぎない。
- ・保育士は常にアップデートをすることが大事ということに共感したから
- ・障害の社会モデルについてわかりやすく説明されていたため
- ・リモートアクセスが良くて聞き取りにくかった
- ・内容は保育士として働くうえでとても自分のためになるお話でしたが、音声は初めの方聞き取りづらかったです。
- ・ためになる話を聞くことができた。最後のゲームもチームで楽しくできた。
- ・調理をしているので保育について学び、大変勉強になった。
- ・説明がわかりやすかった
- ・事件解決のゲームは楽しく盛り上がったが、コロナ禍で様々な配慮をしている中でのグループワークはどうだろうと正直思いました。講義の内容はためになるようであったので間を取って普通になりました。
- ・子どもに選択肢を与えると答えやすいとか、最後のゲームは楽しかったです。
- ・例文を用いて、具体的な考え方を教えていただけたので分かりやすかったです。
- ・保育の現場に欠かせない内容だった。
- ・色々学ぶことが出来たから
- ・講演内容がためになった
- ・子どもたちへの接し方などタメになった。
- ・子どもの権利保障を改めて考えることができた
- ・内容が濃く分かりやすかった。また、演習で情報共有の難しさと協力する事の大切さを知ったから。
- ・講演内容が学生向けであると感じた。また、講演資料と講師の話で矛盾していると思われる箇所がいくつか感じられた。
- ・障害の持った子の対応等勉強になった。コロナ禍の為、最後グループで集まった事は今回はいらなかったのではないかと感じた。
- ・基本的なことであっても、初心に帰り考えることが大切だと思うため
- ・インクルーシブ保育について詳しく学べたから。
- ・インクルーシブ保育とは何か、改めてしっかり学ぶことができて良かった。これからの保育の中で、子どもたちとの関わり方にも活かせる部分がたくさんあり、勉強になった。
- ・保育士ではないが、小さい子どもを持つ親として、子どもとの関わり方など、とても勉強になりました。
- ・わかりやすかった。
- ・振り返りになった。特に新しい情報ではなかった。

- ・zoom を利用しての参加だったのでできれば会場で参加したかった
- ・園長の立場で参加しましたが、お話の中に同調したり、振替り ができる内容でよかった
- ・子ども目線、発想を大切にしなければと改めて見直すことができた
- ・研修内容は新たな発見もあり、良かった。
- ・子どもの人権についてよくわかった
- ・現場に生かせる内容だった。
- ・とてもわかりやすく説明していただいて、勉強になりました。
- ・子どもの権利について学べた
- ・子どもの権利についてやこれからの保育にどんなことが課題になるのか学ぶことが出来た。
- ・大切な内容の再確認ができた
- ・専門学校の講師の方から子どものための保育を教えて頂いて改めて、勉強になったから。
- ・改めて当たり前で過ぎて来た事を見直すことができた。インクルーシブという言葉を知った。今後の保育に役立つと思う。
- ・知っている内容だったが再確認になったため。
- ・簡潔で分かりやすかったです。

⑤研修会后、ご自身に変化があった点や参考になった点があればお聞かせください

26 件回答

- ・常に勉強していこうと思った
- ・インクルーシブ保育のシステムを初めて知ったので勉強になった
- ・子どもが自分で自己決定や自己選択ができるように関わっていくことの大切さを改めて感じました。
- ・今後の保育にいかそうと思いました。
- ・目的と手段という考え方がとても参考になりました。
- ・子どもの「できる」と「できた」を支える環境構成について具体的に考えた。
- ・子どもを見る目
- ・インクルーシブについて考えるようになった
- ・子どもたちへの言葉掛けなど見直すようにした。
- ・とかくできないことに目がいきがちだったことを反省し、なんでも見方を変えることで子どもが生き生きと活動できるようにしたいと思った
- ・子供の権利を守ることは過保護になることでは無いのだと思いました。
- ・特にありません。
- ・自己選択の大切さを再認識する機会になりました。
- ・今まで以上に視野を広げて時には視点を変えて保育するようになった。

・大人が何でも決めるのではなく、子どもが自分で選んで自分で決めるようにする。選択肢を増やして可能性を広げるという点がとても参考になりました。また、専門知識をアップデートすることも忘れずに、これから仕事に活かしていきたいです。

- ・研修内容を職員間で共有していきたいと思いました
- ・子どもに寄り添う、こどもを見るということをは子どもを知る事になることを改めて認識した
- ・気になる子の行動や目線をしっかり見て「できる」を見つけ改めて関わりを大切にしようと思った
- ・子どもとのかかわり方を意識しながら行うようになった
- ・子どもの人権を考えて保育にあたっている
- ・自分も気をつけていこうと思った
- ・熱心な理解者にならないように保育していきたいと考えるようになった。
- ・達成感が味わえるように保育士が何でも決めて子どもにおろすのではなく、選択肢を多く与えて選べるようにしていきたいと思った。「何が出来ないのか」「どうして出来ないのか」子どもをよく見てその子に合った保育や援助をしていきたい。
- ・欠席した職員に聞かせて保育園全体で取り組んでいける様にしたいと前向きになった。
- ・障害に対する認識。

⑥今後取り上げて欲しいテーマや保育現場での悩み等があればお聞かせください

- ・食育やアレルギー対応について
- ・保護者、保育者との関わり方
- ・保育にすぐ生かせる未満児の手遊び、リズム遊び
- ・落ち着きのない子どもへの関わり方
- ・食育について
- ・書類の書き方、障害児保育
- ・チームワークを高める方法
- ・保育士に限らず、社会人としてのモラルやルールについて
- ・特になし
- ・保健衛生
- ・保護者への接し方
- ・誰もがわかりきった机上の知識ではなく、現場で参考になるような考え方や園児に対する捉え方接し方についての内容だと良いと思いました。
- ・保護者対応
- ・仕事には報・連・相が大事と言われているが、その注意点について新人にも分かりやすく研修できると良いなと思います
- ・どんなテーマでも学びになります。子どもの遊びや保護者対応などについてや、危機管理、怪我や感染症の対応など実践をまじえた研修会があれば参加したいです。
- ・マナー(電話対応、来客の対応の仕方) 保育のリスクマネジメント

・障がいについて 運動あそびのやり方 鼓隊の進め方など

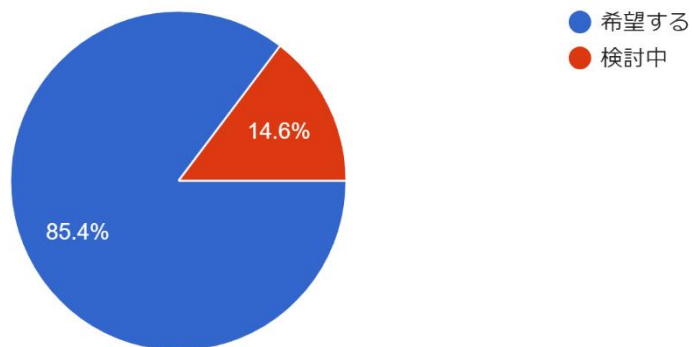
⑦研修会についてご意見・ご感想・お気づきになった点があればお聞かせください

19 件回答

- ・普段の生活では子どもたちとは接することはほとんどないのですが、遠足などで関わる機会があったら見守りながらのサポートをしたいとおもう
- ・最初の渡邊理事長のお話ですが、音声の不具合で全く聞こえませんでした。このことは、あとで送付されてきた資料を拝見して、とても残念だったと感じました。
- ・もし次回も開催するならばぜひ参加したい。もう少しリモート設備を整えてほしい
- ・初めの方音声が聞き取りにくかったので、次回は初めから聞き取りやすいと気持ちよく研修が受けられると思いました。
- ・オンラインが最初なかなか繋がらなかった
初めの待ち時間やトラブルが多かった この状況の中開くならマスクを皆不織布のマスクにするとか鼻を出してる人もいたのでしっかりするべきだと思った。マスクを外すのであれば何か対策を取るべき。最後のゲームは普通に距離が近くなっていたと思う。盛り上がったがこの時期取り入れるものなのかと思った。取り入れるなら施設ごととか考えるべきだと思った。
- ・マイクの音がこもっていて聞き取りづらかった。
- ・現地参加が一番好ましいが、現場から抜けられない、距離がある等があるため zoom 参加ができることは、とてもありがたかったです。
- ・準備や当日の進行など、ありがとうございます。保育者としての資質を向上し続けるために、どんどんアップデートしていく必要があるということをしみじみと感じました。ただ一つ、この時期なのでもう少し参加者の距離を広く取ったり、会場を分ける等のやり方があっても良かったのではないかと感じました。
- ・特になし
- ・参加型の研修で楽しく、分かりやすく学ぶことができた。
- ・zoom での研修や講演会だと密を防ぐことができるので、良いと思いました。
- ・照明の明るさ 目が疲れた。
- ・内容にメリハリがあり受けやすかった。最後の演習では年齢・経験関係なく頭を寄せ合い楽しむことができ、人間関係の距離が縮まったと思う
- ・このような研修会を開催して頂きありがとうございました。短い時間ではありましたが学びに繋がる貴重な時間になり、感謝しております。
- ・またききたいと思います。
- ・午前にあると有難いです
- ・コロナ禍なのでわざわざ集まって研修をしなくてもよかったと思う

⑧今後研修会へ参加を希望しますか

41件の回答



検討中と答えた方へ

その理由をお聞かせください。

4件回答

- ・コロナ禍の中対策が不安に感じた。
- ・誰もがわかりきった机上の知識ではなく、現場で参考になるような考え方や園児に対する捉え方についての内容であると、参加意欲が湧くかなと思います。
- ・コロナ禍の為、落ち着いてから参加したい。
- ・内容と時季による

○アンケート調査を経て

7割近くの参加者から満足を得る事ができた。

しかし、参加者の中にはコロナ禍の状況での開催に疑問を呈する声が多くあった。

次回開催時は収束に向かった頃合いを見て開催し、より多くの参加者を募り誰もが安心して研修に参加できる時期を見極めていきたい。

また、リモートについて当日音声のトラブルがあったため、次回以降このような事態を招かないよう対策する。

今後取り上げて欲しいテーマとして保護者対応の声が多数寄せられたので、検討していく。

○研修会を経て

コロナ禍の状況下、現地参加人数が当初より大幅に減少した中ではあったが、講師を招き初のリモート研修といった試みを今回達成する事ができたので、今後も継続してリモート研修会を企画していきたい。

学生の参加者が初めての事であり今回は目標値まで達成できず、数名の参加人数であったので、学生も参加しやすい案内や研修会内容を今後企画していく必要がある。